

# SUCCESS STORY

## [アライズイノベーション株式会社]

オフコンからオープン系への  
マイグレーション・サービスにMagic xpaを採用



### プロジェクト

#### お客様：

アライズイノベーション株式会社  
東京都  
www.ariseinnovation.co.jp/

#### 業種：

エンタープライズAI, 超高速開発,  
クラウド

#### ソリューション：

Magic<sup>®</sup> xpa<sup>™</sup>



### 目的

- システム開発における高い生産性を  
実現するため、『超高速開発』ツール  
を選定
  - 5社の超高速開発ツールを比較、  
以下の理由でMagic xpaを採用
- ① オフコンからの移行後の画面操作  
における親和性の高さ
  - ② 帳票作成におけるダントツの  
生産性、保守メンテナンスの容易さ
  - ③ 高い導入実績と、開発ツール  
としての歴史による信頼性



### 成果

- オフコン特有の画面やデータ形式を  
維持した形で、短納期で高品質な  
移行が可能
- 基幹システムの継承に超高速開発を  
活用するサービス『MMS(メインフレ  
ーム・マイグレーション・サービス) for  
RAD』を提供

アライズイノベーション株式会社は、オープンイノベーションへ取り組む新しいICT企業として、2016年7月に日本紙パルプ商事株式会社と東京システムハウス株式会社の合併会社として設立されました。

人材不足やノウハウ継承の課題を解決させるための『企業向けAIサービス』、システム開発において高い生産性を実現するための『超高速開発』、そしてそれらのサービスの基盤となる『クラウド』の3つを専業とし、ICT市場の活性化と拡大を図ることとなり、その事業の1つでもある『超高速開発』を実現するための開発ツールを選定する必要に迫られていました。

約3ヶ月間にわたり5社の超高速開発ツールを比較検証し、オフコンから移行した後の親和性、保守メンテナンスの容易さから、国内での導入実績のあるマジックソフトウェア・ジャパンの超高速開発ツール『Magic xpa』を採用しました。

国産メーカー製オフコンの簡易言語の移行に、超高速開発ツール『Magic xpa』を活用することで、オフコン特有の画面やデータ形式を維持した形で、短納期で高品質な移行が可能となり、基幹システムの継承に超高速開発を活用するサービス『MMS(メインフレーム・マイグレーション・サービス) for RAD』の提供を実現しました。



Magic xpaにより、基幹システムの継承に「超高速開発」を活用するサービス『MMS(メインフレーム・マイグレーション・サービス) for RAD』の提供が可能となりました。Magic xpaは、COBOLで開発されたアプリケーションを使用しているお客様には、親和性が非常に高い開発ツールだと確信しています。

取締役 COO 清水 真 様



Magic xpaは、ソースコードのコンパイルやライブラリのリンクなどを行い、最終的な実行可能ファイルを作成するビルド(build)の作業が不要なため、開発スピードが速くなりました。これなら、超高速開発のニーズに耐えられる開発ツールであると実感しました。

システムエンジニア 松崎 梢 様



# SUCCESS STORY



## [超高速開発ツール活用の経緯]

「親会社でもある東京システムハウスでは、過去20年で200社以上の企業に対し、オフコンのシステムをオープン系に移行（COBOLからCOBOL）するサービス『メインフレーム・マイグレーション・サービス（MMS）』を提供してきました。但し、国産メーカー製オフコンの簡易言語で開発されたアプリケーションをオープン系のシステムに移行する手段はありませんでした。

また、多くの企業ではITへのコスト削減とROIを高めたいと考えており、近年これを実現するための手段として超高速開発へのニーズが高まっていました。

更に、COBOLで開発したシステムを保守メンテできる技術者が年々減ってきているため、移行先のアプリケーションにCOBOLを選択しないお客様が増えています。そういった中で、新しくシステムを短時間で高品質に作り直すサービス『超高速開発』が必要になってきたのです。」

## [Magic xpaを採用した理由]

「超高速開発ツールの選定にあたり、5社の開発ツールを約3ヶ月にわたり検討しました。選定理由は次の3つです。

1. Magic xpaではオフコンの画面と同様の操作性のアプリケーションを開発できるため、移行後の画面操作における親和性が高かったこと。
2. マスタメンテ、ファイル更新は他の開発ツールでも超高速で作ることは可能だが、帳票作成においてはダントツでMagic xpaの生産性が高く、保守メンテナンスが容易であると感じたこと。
3. Magic xpaは、国内800社以上のパートナー企業と3万5000社以上の導入実績や、開発ツールとしての歴史があり信頼性が高かったこと。

以上の選定理由により、Magic xpa を『超高速開発』のツールに選定しました。」（以上、取締役 COO 清水 真 氏）

## [教育と技術支援でMagicをマスター]

3日間の基礎トレーニングとパートナー企業からの2ヶ月間の技術支援でMagic xpaをマスターされました。

「まずはメンバー4名でMagic xpaの3日間の基礎トレーニングを受講し、基礎トレーニングではサンプルプログラムを作成しました。その後、Magicのパートナー企業に技術支援を受けながら、国産メーカー製オフコンの簡易言語で開発されたアプリケーションのプログラム数本をパイロット開発しました。開発した処理は、マスタメンテ、データの加工、帳票出力処理です。

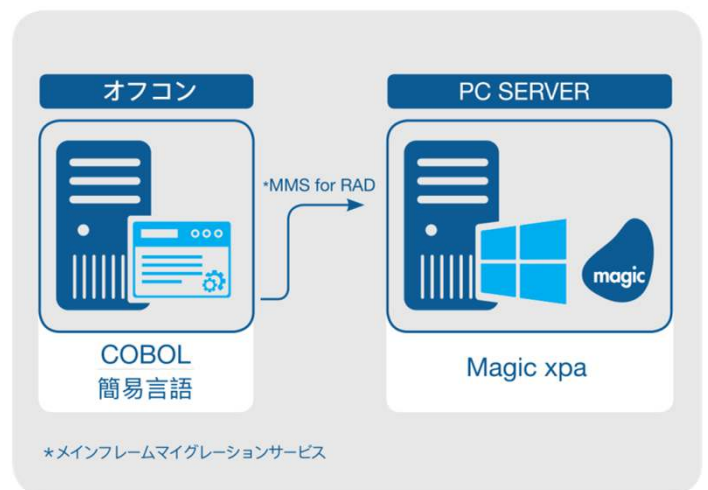
開発画面の操作性に慣れるまで少し抵抗がありましたが、慣れてしまえば逆に操作しやすと感じました。特に、ショートカットキーを活用することで、マウスをあまり使わなくてもプログラムが作れるところが優れていると思います。

また、Magic xpaは、ソースコードのコンパイルやライブラリのリンク、およびビルド（build）の作業が不要なため、開発スピードが速くなりました。これなら、超高速開発のニーズに耐えられる開発ツールであると実感しました。」（システムエンジニア 松崎 栞 氏）

## 今後の展望

「弊社では、Magic xpaを活用することで、基幹システムの継承に『超高速開発』を活用するサービス『MMS(メインフレーム・マイグレーション・サービス) for RAD』の提供が可能となりました。Magic xpaは、COBOLで開発されたアプリケーションを使用しているお客様には、親和性が非常に高い開発ツールだと確信しています。親会社の東京システムハウスは、過去20年で200社以上の企業に対してCOBOLのマイグレーションサービスを提供してきたので、先ずはそのお客様にも弊社のサービスを訴求していきたいと思えます。

今後、オフコンの保守サポート期間終了の問題から、オフコンからオープン系への移行のニーズはますます高まり、安価で手軽な移行手段が求められてくることを見込まれます。そのためには出来るだけ人の手作業を減らす必要性があります。そこで、オフコンの簡易言語で開発されたアプリケーションのプログラムをMagicのプログラムに自動的に置き換えるコンバージョンツールを開発する予定です。」（取締役 COO 清水 真 氏）



[www.magicsoftware.com/ja](http://www.magicsoftware.com/ja)



マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー24階

TEL : 03-5937-3300 営業所：札幌 仙台 信越 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡